

第 5 期東久留米市市民環境会議第 6 回 会議録

会 議 名	第 5 期東久留米市市民環境会議第 6 回会議録
日 時	平成 28 年 11 月 2 日（水） 19 時 00 分～21 時 15 分
会 場	東久留米市役所 7 階 703 会議室
出 席 者	出席委員数 13 名 欠席委員数 2 名
出席職員	環境政策課長 計画調整係長 緑と公園係長 計画調整係主事
議 題 I. 報告事項 1. 第 5 期第 5 回市民環境会議会議録（案）について 2. 環境政策課からの報告 ① 環境シンポジウムについて ② かんきょう東久留米 27 年度暫定版 ③ 平成 29 年度予算要求予定について ④ 市民表彰について 3. 第二次緑の基本計画中間見直し検討部会報告 4. 各部会からの報告（「活動計画等報告」「5 期 10 年の取り纏め」） 5. 全体としての報告 ① 広報関係について ② 今期後半の全体予定について（「会議体の今後の姿」含む） II. 議題 1. 環境フェスティバル実行委員会委員の選出について（確認）	
配布資料 資料1. 第 5 期第 5 回東久留米市市民環境会議会議録（案） 資料2. 環境シンポジウム参加者アンケート集計結果 資料3. かんきょう東久留米 平成 27 年度 暫定版 資料4. 第二次緑の基本計画の中間見直し方針・検討部会名簿 資料5. 水と緑部会報告 資料6. 湧水ウォッチングウォークチラシ 資料7. 環境学習部会活動報告 資料8. 環境学習部会 5 期間（19 年 6 月から 29 年 5 月）報告（案） 資料9. くらし部会報告 資料10. 市民環境会議の広報活動の今後について 参考資料 第 5 期市民環境会議 全体後半予定	
議事内容 I. 報告事項 （→は、意見、質問等） 1. 第 5 期第 5 回東久留米市市民環境会議会議録（案）について【資料 1】 配付資料のとおり了承された。 2. 環境政策課からの報告 ①環境シンポジウムについて【資料 2】 ・生物多様性地域戦略を今後策定し、取り組みをどのように進めていくか考える機会として開催した。	

・タイトル：東久留米市環境シンポジウム～みんながこのまちの生物係～

・講演内容としては以下の二つを行った。

- 「東久留米の生物調査の結果について」（5月の春の生物調査の結果について。）

調査会社より

- 「生物多様性の保全とは？」

トトロの森ふるさと基金理事 関口氏より

・来場者数 53 名（アンケート集計数 33 名、市内 20 名、市外 13 名）

・トトロの森ふるさと基金の関口氏が海城中学校の先生であることから、学生の参加もあった。（若い人の意見としてアンケートの中から抜粋して紹介。）もっと時間が欲しかったとの意見が多かった、

・近隣市へチラシを配布したことの効果もあり、市外からの参加も多くあった。

→シンポジウム当日は流れがわかるような次第が用意してほしかった。また、会議資料としてもアンケート結果だけではなく当日の内容がわかるものがほしい。

→次回のシンポジウム等では用意するよう検討する。また、会議資料が多くならぬよう配慮も必要。

②かんきょう東久留米 27 年度暫定版について【資料 3】

環境政策課より説明。P2 の「平成 27 年度の取り組み状況」については読み上げた。

→名称・データ等で間違いと思われるもの 4 件の指摘があったが、今回の暫定版修正に間に合うよう、各部会にてまとめ 11 月 24 日までに市に報告する。また、その他「下水接続率で（説明文では世帯数で記述、グラフでは人口で記述）されていたが統一した記述にして欲しい」等、読む人が容易に理解できる内容にとの意見・要望があった。

③平成 29 年度予算要求予定について

環境政策課より予算要求予定について報告した。

（空き家対策、緑の基本計画中間見直し、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）、猫の不妊去勢助成、柳窪ひろばトイレ設置、名木百選印刷、井戸水位測定器関係、井戸水位測定器設置、公園施設長寿命化対策、公園トイレ高圧洗浄、下谷公園トイレ設置、竹林公園整備工事）

→猫の駆除は都の仕事なのか、市で行ってくれるのか？ノラ猫の被害に困っている。

→「駆除」ということは行わず、被害の拡大を防ぐべく猫の増加を抑えるための対策をするものである。動物愛護そのものは都の仕事である。現在の上記対応は NPO 法人に頼っている。猫が来ないようにするための猫除けなどを市民ボランティアが行っていただいていることの助成である。市として対策も行っているが、できることできないことがある。

→空き家に関しては市民から苦情はあるのか？

→80 件程ある。近隣住民から枝が越境しているということで問い合わせが多い。所有者のアンケート等をこれから行うことを検討している。

④市民表彰について

市民環境会議から 2 名が選ばれたことを報告した。

→二人に続いていけるよう皆で取り組みを進めていく。

3. 第二次緑の基本計画中間見直し検討部会報告【資料 4】

菅谷委員より、第 1 回の検討部会について報告があった。

・部会長、副部会長の選出を行った。

部会長：環境審議会会長

副部長：環境審議会職務代理

- ・見直しの方針は【資料4】のとおり決定した。
- ・話し合いの中で、生物多様性の周知が足りないことから、計画の中にシンポジウム等を含める案が出された。
- ・次回の検討部会は12月9日に行われる。

→生物多様性地域戦略策定は義務なのか？

→努力義務である。

→緑の基本計画に入れ込むのか？

→入れ込む形で作成をする。生物の保全は緑の保全と絡む為である。様々な計画と絡む為、長期総合計画などと整合を図っていく。

→今年環境シンポジウムでこのテーマを扱っている。2回目となるシンポジウムでは題材はどのようにするのか。実際、何を行うのか？

→広く市民に普及するためのシンポジウムとなるだろう。

→計画に対して市民環境会議からアピールしたいことがあれば、選出委員を通していくことでよいのか？

→そういうことで良い。全体会毎に報告をしていく。

→一般市民の意見反映の機会はあるか？

→議事録もHPに掲載していく。市民の意見の反映のためにパブリックコメントも実施する。

4. 各部会からの報告

① 水とみどり部会 【資料5、6】・・・部会長

- かんきょう東久留米26年度版に対する意見を提出した。
- 第5期活動計画の進捗状況を確認した。
- 名木百選（仮称）について
現在部会から35件、学校から1件、市民から2件の応募がある。
応募例などをくるくるにアップするなどをしてPRを行っている。
小中学校の校長会にて各校から応募していただくようお願いをした。
パンフレット発行等の予算は当初、民間（セブンイレブン）の助成金を考えていたが、廃止になっていたため、東京都の補助とあわせて市での予算要求をしてもらう予定である。
- 湧水調査調査を11月9日～15日に実施する。
- 湧水ウォッチングウォークについて【資料6】
「黒目側上流の湧水と秋の柳窪散策」を11月29日に実施する。
さいかち窪のまぼろしの湧水が今年も出現したとの話もあることから、上流域での湧水も多くまだ見学ができる。詳細の人数はわからないが、10名程度の応募はある。
- 七福神めぐりに今年度も参加する。
- その他
 - a. 汚水排水に関する市役所との打ち合わせを9月27日に行った。
 - b. 暮らし部会の清瀬水再生センターの見学に部会員5名が同行した。
 - c. 水循環グループでは新河岸川流域水循環計画や黒目川水循環計画を視野にいれ、各種データの整理・検討を行っている。

② 環境学習部会 【資料7、8】・・・部会長

- みのり塾について(主催)

- a. 子どもセンターひばり、自由学園との活動を継続していく。(みのり塾のチラシ配布、ポスター掲示、申し込み受付、活動スタッフの協力継続。)
- b. 新たに「ゆいまある南沢」が共催団体となった。
- c. 第1回みのり塾

2016年9月25日(日) 午前9時から12時半

子どもセンターひばりでの受付が可能か未確定だったため環境政策課を窓口とした。篠宮農園にて野菜の種まきと野菜の間引き体験。ゆいまある南沢にて料理と試食を行った。募集対象は小学3年生から大人とし、当日は子ども7名、大人9名の参加となった。活動報告はくるくるに掲載。

第2回みのり塾

2016年11月23日(水・祝) 午前10時から12時半まで

篠宮農園にて収穫体験と料理、試食

募集対象は小学1年生から15名(保護者を含まず。)子どもセンターひばりにて受付を行っている。

第3回みのり塾

2017年1月22日開催予定

- EECについて(協力)

市内図書館への協力を行っている。5月29日と7月31日に環境学習部会長が講師を務め、9月4日には水とみどり部会長が講師を務めた。

- 黒目川クリーンエイドについて(参加)

10月23日開催。438名で行った。

新たにパチンコ大学さん、サンスイさんが参加し、活動の様子は毎日新聞の多摩版に掲載された。現在は回収したゴミの集計をおこなっている。

- 5期10年の報告(案)について。【資料8】

2期、3期は人が多くいろいろな活動内容も充実していた。

現在はサポーター制度があって成り立っている。

→みのり塾の参加者は少ないけど、特定の団体や学校に呼びかけて行っているのか？

→農家さんのご厚意で農園に入らせていただいている。大人数になって踏み荒らさないように毎回15名程度で募集を行っている。毎回募集を行い、初めての方も含め活動を行う。湧水にも関係のある、涵養域である都市農園を知っていただく。人数が回を増すごとに増えることを狙う。

→特定の層を対象としているのか？

→いつも子どもを対象としているが、大人も対象にした回もある。また子どもを通して保護者や、その子どもが大きくなったときに援農に興味を持ってもらえるとよいと考えている。

→みのり塾では体験ができるのか？

→実際に畑の中で作業をすることが出来る。

→保険に加入しているのか？

→毎回子どもは児童館によって加入している。

→実った農産物はいただけるのか？

→試食のものは買取、他に実費で買うことが出来る。

③ 暮らし部会【資料9】・・・部会長

- 8月に小平ふれあい下水道館、9月に清瀬水再生センターの見学を行った。
- グリーンカーテンコンテストについて
優秀作品選出を10月17日にくらし部会3名、環境政策課長、計画調整係長、計画調整係主事の計6名にて行った。11月8日に表彰式を行う。
- 暮らしフェスタについて
パネル展示を行う。テーマを「家庭の排水の行方」とし、家庭の排水の行方について展示する。8月9月に行った見学のまとめや、いただいた資料を基に来場した方へ説明していく。
- 5期10年の取りまとめは2月のはじめまでに行うこととした。(くらしフェスタ準備等で時間がないため。)

→グリーンカーテンコンテストに向けて苗の配布は行ったのか？

→300鉢を環境フェスティバルの時に配布した。種を環境政策課の窓口で配布した。

→配布した数に比べ応募者が少ない。

→苗と一緒に応募用紙も配付をしたが、写真をきれいに撮るなどグリーンカーテンを作ること以外にも作業があるため壁があると考え。しかし、ゴーヤの配布から始まったグリーンカーテンは多年草などで作られる方も増え多様化し、普及してきたと考える。市民環境会議の皆さんのご家庭でも行っていただいて口コミで広がっていくと嬉しい。

5. 全体としての報告

① 広報関係について【資料10】・・・広報担当

市民環境会議の名前の認知度の向上を目指して、具体的な活動として以下を考える。

a. くるくるチャンネルへの定期投稿（毎月15日など）

- ・会議の内容は項目のみにする。
- ・環境コラム（まぼろしの湧水、下里氷川神社裏の遊歩道、水とみどり部会で作成した東久留米の昔と今の比較写真など）を載せて興味をひく。
- ・部会での持ち回り制も視野に入れている。

→トップページの新着一覧に表示されるのは活動紹介なのではないか？

→上記内容も可能と考えるが確認する。

b. ロゴの作成（書体の統一など）

東久留米市の市章の活用は使用する毎に申請書をださなくてはならないため、使用しにくく、別の方向で考えたい。

c. 市民環境会議についてのチラシを各部会で活用してほしい。

d. 事務局会への広報担当者の出席を検討していきたい。

② 今期後半の全体予定について【参考資料】

- ・参考資料により今後のスケジュールを座長より説明。
- ・その中で会議体の今後についても言及(対比表を先行して作成し、その後、方向性を見出す)。

→各部会からの提案を全体で提言としてまとめるのに時間がかかるため、全体会は残り3回では少ないと思う。

→まとめの進捗や環境フェスティバルの時期も踏まえ開催回数を検討する。

II. 審議事項

1. 環境フェスティバル実行委員会委員の選出について

環境フェスティバル実行委員会委員を10月18日まで公募し、市民環境会議にも選出願いをし、各

部会で話し合った結果、水とみどり部会から1名、くらし部会から1名が選出され、全体会にて最終的な承認を得た。

■次回全体会■

1月末または2月初めの開催を予定する。

以 上